

## 国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における 本市の上下水道管の耐震化状況について

### 1. 緊急点検の背景

上下水道は国民の生命や暮らしを支えるインフラであり、特に令和 6 年能登半島地震では、上下水道システムの耐震化の重要性が改めて明らかになったことから、国土交通省は、重要な施設に接続する上下水道の管路等の耐震化状況などの緊急点検を実施した。

### 2. 緊急点検の対象となる重要施設

国土交通省は、地域防災計画に位置付けられている施設（市役所、病院等）など、災害時に上下水道の機能の確保が特に必要な施設を下水道事業者と水道事業者等にて調整のうえ選定することとしている。また、調査の対象施設は令和 11 年度までに整備を進める施設としている。

これらの条件から、伊勢市は地域防災計画に指定されている活動拠点、医療機関（救急告示医療機関、人工透析医療機関）などの 94 施設の中から、上下水道区域内にある上下水道の機能確保が必要な施設で、5 年以内に整備を行う活動拠点と医療機関の 7 施設を抽出した。

- ・活動拠点（3 施設）：伊勢市役所本庁舎、小俣総合支所、三重県伊勢庁舎
- ・医療機関（4 施設）：ひかり病院、ハートクリニック福井、田中病院、伊勢総合病院

### 3. 上下水道施設の耐震化の緊急点検結果

重要施設（7 施設）に接続する上下水道の管路等【令和 5 年度末】

		伊勢市	県内	全国
上水道	重要施設に接続する水道管路の耐震適合率 <sup>※1</sup>	80% <sup>※2</sup>	26%	39%
下水道	重要施設に接続する下水道管路の耐震化率	97% <sup>※3</sup>	58%	51%
上下水道	接続する水道・下水道の管路等の両方が耐震化されている重要施設の割合	0% <sup>※4</sup>	2%	15%

※1： 耐震適合率：管路延長に対する耐震適合管延長の割合

※2： 耐震適合管延長 12.43 km/重要施設に接続する水道管路延長 15.61 km=79.6%

（耐震適合管：耐震管の他に良好な地盤に敷設された一部のダクタイル鋳鉄管を含めた管）

※3： 耐震化済延長 6.2 km/重要施設に接続する下水道管路延長 6.4 km=96.9%

※4： 上下水道管の両方が耐震化されている施設 0 施設/重要施設 7 施設=0%

#### 4. 伊勢市全体の耐震化状況【令和5年度末】

上水道	伊勢市	県内 (R4)	全国 (R4)
耐震適合率	23.8% ※5	—	—
うち基幹管路※7の耐震適合率	48.1% ※6	33.5%	42.3%

※5： 耐震適合管延長 228.4 km/総延長 958.6 km=23.8%

※6： 基幹管路の耐震適合管延長：36.4 km/基幹管路総延長 75.7 km=48.1%

※7： 基幹管路：口径 300 mm以上の配水管など

下水道	伊勢市	県内	全国
耐震化率	79.7%※8	—	—

※8： 耐震性能を満足する管渠延長 395.1 km/総延長 495.8 km=79.7%